

評価項目		要求要件	評価区分	得点配分			審査基準		加点の採点
大項目	中項目			合計	基礎点	加点	基礎点	加点	
0.	公募要領の遵守	公募要領に規定する業務の目的や作業事項に反し、又は矛盾する提案がないこと。	必須	5	5	-	公募要領に規定する業務の目的や作業事項に反し、又は矛盾する提案がないこと。	-	-
1.	業務の基本方針と目的	本業務の実施に当たっての基本方針と目的を記述すること。	必須	5	5	-	業務の目的を的確に理解し、妥当かつ具体的な基本方針であること。	-	-
2.	地域における低炭素なセルロースナファイバー用途開発F Sの概要	地域における低炭素なセルロースナファイバーの用途開発F Sについて、その概要と特長を記述してください。	必須	5	5	-	当該取組の概要について、分かりやすく、且つ具体的に記述されていること。	-	-
3. 業務の実施内容、方法									
3-1.	地域産業において、短期的に実現可能と考えられるCNF適応分野の選定	本業務の中で検討するCNF適応分野について具体的に記述すること。	必須	15	5	10	CNFの特性を最大限に発揮し、地球温暖化対策に特に貢献が期待できる用途開発分野であり、かつ短期的に実現可能と考えられるCNF適用分野であること。	地域産業のポテンシャルを踏まえ、かつ、CNF用途開発分野が、当該取組の特長等を勘案し実現性が高いものであり、更に事業成果を高めるための工夫が見られること。	-
3-2.	CO2削減ポテンシャルの推計	CO2削減ポテンシャルを推計内容、方法を具体的に記述すること。	必須	30	10	20	提案されているCO2削減ポテンシャルを推計内容、手順、手法等を具体的に提案されていること。	提案されているCO2削減ポテンシャルを推計内容、方法等が、業務目的を達成でき、更に事業成果を高めるための工夫が見られること。	-
3-3.	モデル事業の設定とF Sの実施	地域モデルの事業の成立要件を、低炭素化、リサイクル性、コスト、需要規模等の観点から検証、事業評価等について具体的に提案すること。	必須	30	10	20	妥当性の検証内容、方法(外部有識者による技術的助言を含む)が具体的に提案されていること。	提案されている検証内容、方法等が、業務目的を達成でき、地域産業としての実現性を踏まえたもので、更に事業成果を高めるための工夫が見られること。	-
3-4.	CNFの普及検討	取組の普及検討の内容について具体的に記述すること。	必須	25	5	20	取組の普及検討の内容が具体的に提案されていること。	提案されている内容に、事業成果を高めるための工夫が見られること。	-
3-5.	SF地域モデル事業構築に向けた協議会の設置・運営等	関係自治体等、企業、メーカーなど地域のステークホルダーの参画、有識者の助言などが得られること、また、円滑な検討を推進するために必要な作業を行う手順、手法等を具体的に提案すること。	必須	10	5	5	適切なステークホルダー、有識者が提案されていること。	提案内容が効果的・効率的であるとともに、業務目的を達成する上で必要かつ適切なものになっており、その根拠が明確であること。	-
3-6.	業務項目・内容の追加提案	公募要領「2.(2) 事業内容」で提示されている内容以外で、本業務目的を達成するために必要と考えられる業務項目・内容の追加提案があれば、具体的に記述すること。	任意	10	-	10	-	提案されている内容が具体的であり、業務目的を達成でき、更に新規性、有用性があること。	-
4.	業務の実施計画	提案する業務の具体的なスケジュールを記述すること。	必須	10	5	5	本業務の具体的なスケジュールが提案されていること。	業務目的を達成する上で適切かつ実行可能なスケジュールであること。	-
5.	業務の実施体制	本業務の実施体制及び業務分担について、図を交えて説明すること。(責任者の氏名、役職、従事者の役割分担、従事者数、内・外部の協力体制、他機関との連携等)	必須	30	5	25	適切な役割分担により業務の実施体制が提案されていること。	業務を遂行する上で、効果的・効果的な人員配置、協力体制(外部有識者等)が構築されていること。	-
6.	類似事業の実績	類似の調査、検証、評価業務を行った実績を記述すること。(年次、業務名、発注機関、業務内容等)	任意	5	-	5	-	類似の調査、検証、評価業務を行った実績が記述されていること。	-
7. 経理									
7-1.	経費内訳	本業務の実施に要する経費の内訳を示すこと。	必須	15	5	10	提案の内容と矛盾のない経費が計上されていること。	効果的で効率性に優れた経費が計上されており、費用対効果が高い事業となっていること。	-
7-2.	経理的基礎等	業務を確実に実施できる経理的基礎を有すること。	必須	5	5	-	債務超過でなく、かつ利益が計上できている。又は事業実施のために必要な資金調達に掛かる確実な計画を有していること。	-	-
合計				200	70	130	加点合計		基礎点

基礎点部分の採点は、技術上の基準を満たす場合に、当該基礎点全部を得点とする。  
 加点部分の採点は、配点5点の場合、技術上の基準に基づき、優:5点、良:3点、可:1点、不可:0点、の4段階評価とし、配点に応じて係数をかけて得点を算出する。  
 基礎点がある項目に係る加点部分の「不可:0点」とは、基礎点の基準は満たす(基礎点は得点)が、加点部分の基準をなら満たさない場合である。  
 例示上の注釈) 価格と同等に評価できる項目 = 0 + 4 + 5 = 100点、創造性等の価格と同等に評価できない項目 = 1 + 2 + 3 + 6 = 100点、 価格点 = 100点